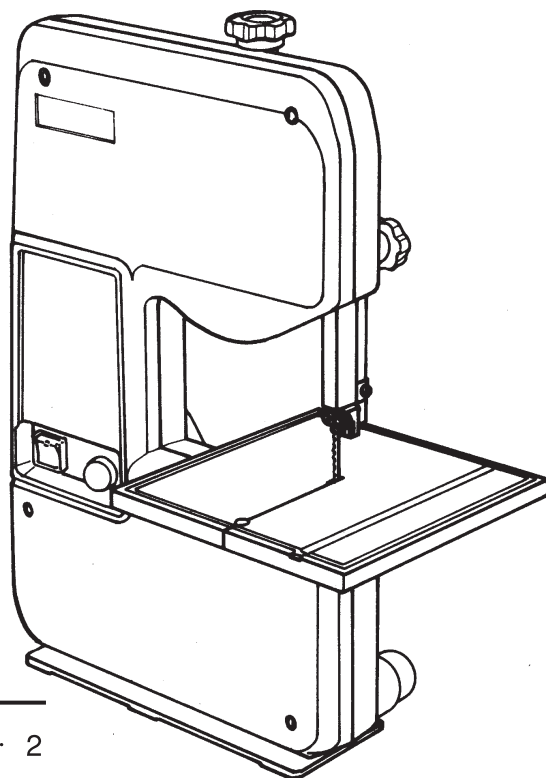


PROXXON

プロクソン ミニバンドソー (帯のこ盤)

取扱い説明書

ご使用前に必ずこの取扱い説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱い説明書は大切にお手元に保管してください。



——— もくじ ———

- 安全上のご注意 2
- 各部の名称／付属品／仕様
ご使用上のご注意 3
- 本体の組み立て、固定、
操作の方法 4
- No.28172 (ガラス、タイル、石材用)
の組み立て方法 7
- 消耗箇所について 9
- 展開図と部品表 10
- 別売部品、保守と点検 11
- アフターサービス 12
- 保証書 12

No.28170 (木工、金工用)

**No.28172 (ガラス、タイル
石材用)**

KISO
POWER TOOL

この度は、プロクソン・ミニバンドソーをお買い上げ頂きありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの説明書をお読み下さい。

安全上のご注意

火災、感電、けがなどの事故を少なくするため、次に述べる安全上の注意を必ず守って下さい。

使用前に、これらのすべての注意事項を読み、そして指示にしたがって使用して下さい。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に保管して下さい。

「シンボルとシグナル用語」の意味について

注意文の頭部の表示の「シンボルとシグナル用語」の意味を説明します。

なお、**▲ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守って下さい。

▲ 警告 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

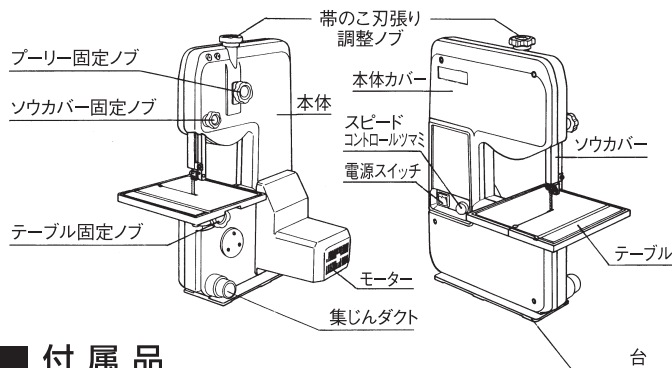
▲ 注意 : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

▲ 警 告

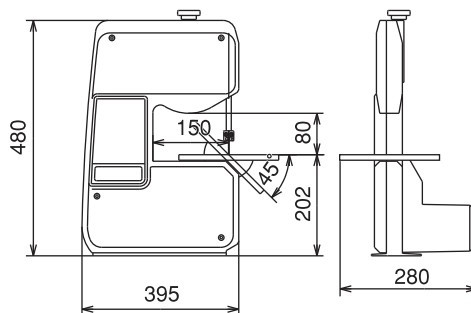
- 作業場は、いつもきれいに保って下さい。
- 作業場の周囲状況も考慮して下さい。
 - 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で絶対に使用しないで下さい。
 - 作業場は、十分に明るくして下さい。
 - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないで下さい。
- 感電に注意して下さい。
 - 雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で絶対に使用しないで下さい。
 - 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにして下さい。
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
 - 切断や研磨の作業の際、水、研磨液などは、使用しないで下さい。
- アース端子の付いている商品は、必ずアースを接続して下さい。
- 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用して下さい。表示を越える電圧で使用するすると回転が異常に高速になり、故障や事故の原因になります。
- 作業中、無理な負荷をかけたり、銘板に表示してある定格使用時間以上の連続使用をすると、モーター部、電子制御部が発熱し故障の原因になります。
 - 安全に能率よく作業するために、製品の能力に合った速さで作業して下さい。
 - 小型の電動工具は、大型の電動工具で行う作業には使用しないで下さい。
- 作業中は、手、目や顔を刃物に近づけないで下さい。
- 子供を近づけないで下さい。
- 使用しない場合は、きちんと保管して下さい。
 - 乾燥した場所で、子供の手が届かない所に保管して下さい。
- 指定された用途以外での使用は絶対に行わないで下さい。
- きちんとした服装で作業して下さい。
 - だぶついた衣服や、長い髪の毛などは、駆動部に巻き付いたりするおそれがあります。
 - 巻き込み事故の防止のため、手袋等の着用は絶対にしないで下さい。
- 作業中は保護メガネを使用して下さい。粉塵の多いところでは、防塵マスクを併用して下さい。
- 電源コードを乱暴に扱わないで下さい。
 - 電源コードを持って電動工具を運んだり、電源コードを引っ張って電源コンセントから抜かないで下さい。
- 加工する物をしっかりと固定して下さい。
 - 加工する物を固定するために、クランプやバイス(万力)を使用して下さい。
- 無理な姿勢で作業をしないで下さい。
- 次の場合は、電動工具の電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて下さい。
 - 使用しない場合、または修理する場合。
 - 刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
- 刃物、砥石、ビット等の付属品の取り付け、及び交換は取扱説明書に従って確実に取り付けて下さい。
確実にしないと、はずれたりして、けがの原因になります。
作業に入る前には、必ず試運転をして下さい。
- 電源を入れる前に、付属品の取り付けに使用したキーやレンチ等の工具類が取り外してあるか確認して下さい。
- 電源プラグを電源コンセントに差し込む前に、電源スイッチが切れている(OFF)事を確認して下さい。
- 屋外で延長コードを接続して使用する場合、屋外使用に合った延長コードを使用して下さい。
- 電動工具は、注意深く手入れをして下さい。
 - 刃物類は、常に手入れをし、よく切れる状態を保って下さい。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従って下さい。
 - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、メーカーに修理(有償)の依頼をして下さい。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにして下さい。
 - 駆動部、可動部、カバー部、スイッチ部やその他に損傷がないか十分に点検し、正常に作動しているか、確認して下さい。異常のある場合はメーカーに修理(有償)の依頼をして下さい。
- 指定の付属品や別売品、または指定している同等品を使用して下さい。それ以外の物を使用すると、事故やけがの原因になります。
- 誤って落としたり、ぶつけたときは、先端工具(刃物類)や本体に破損や亀裂、変形がないことをよく確認して下さい。そのまま使用すると、事故の原因になります。異常のある場合はメーカーに修理(有償)の依頼をして下さい。
- 本製品は、該当する安全規格に適合していますので、改造は絶対に行わないで下さい。
- 修理は必ず弊社までお申し付け下さい。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因になります。

◆その他、取扱い上ご不明の点があった場合、弊社までお問い合わせ下さい。

■ 各部の名称



● 機体寸法



■ 付属品

※No.28170の場合

- バンドソウ帯のこ刃14山 (木工、金工用／長1060×幅5×厚0.4mm) —1本
- L型レンチ (大・5mm／中・2.5mm／小・2mm) —各1本
- 本体固定用木ネジ—5本
- ゴムパイプ・集じんアダプター (電気掃除機とのジョイント用) —各1ヶ
- 角度切りガイド—1ヶ

※No.28172の場合

- ダイヤモンドブレード (長1060×幅3×厚0.3mm) —1本
- 水槽タンク—1ヶ
- 受け皿—1ヶ
- ゴムパッキン—1枚
- ニップル—3ヶ
- ニップル用ナット—1ヶ
- ビニールホース (短—3本・長—1本)
- タンク取付けネジ—2本
- 角度切りガイド—1ヶ
- L型レンチ (大・5mm／中・2.5mm／小・2mm) —各1本
- 本体固定用木ネジ—5本
- ゴムパイプ・集じんアダプター (電気掃除機とのジョイント用) —各1ヶ

■ 仕様

電 圧	AC100V 50/60Hz	作業部の寸法	高さ80mm 奥行150mm
消費電力	100W	テーブル寸法	200mm×200mm
刃の周速	130m/分～200m/分 (無段電子コントロール付)	テーブル傾斜	右45°
取付け可能な帯のこ刃の寸法	幅3～6mm 長さ1060～1070mm (円周)	重量	5.5kg

■ミニバンドソウ (帯のこ盤) で使用上のご注意

先に一般工具として共通の注意事項を述べましたが、ミニバンドソウ (帯のこ盤) として、さらに次に述べる注意事項を守って下さい。

⚠ 警 告

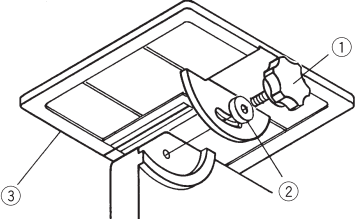
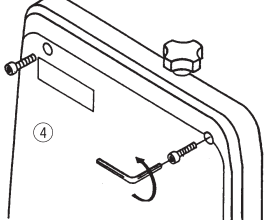
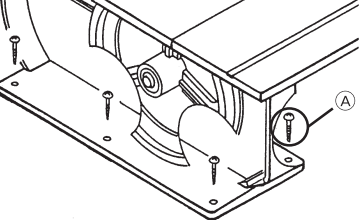
1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 電源の接続前に、必ずアース (接地) してください。アースしていないと感電の原因になります。
3. 使用に際しては、安全のため保護メガネを着用してください。また、切りくずを吸い込まないようにマスクの着用を心掛けてください。
4. 帯のこ刃は純正品もしくは同等品を使用してください。
5. 帯のこ刃が折れ曲がったものや、ヒビ、割れなど異常がないことを確認してから使用してください。異常があると、帯のこ刃が破損し、けがの原因になります。
6. 作業をする時、必ず作業台、机など固定させて作業して下さい。確実に固定してないと、はずれたりし、けがの原因にもなります。
7. 延長コードを使用するときは、アース線を備えた3芯コードを使用して下さい。
・2芯コードのみですと、感電の原因になります。
8. 使用中は、帯のこ刃及び駆動部に手や顔を近づけないでください。けがの原因になります。
9. 電源スイッチを入れたまま放置しないでください。事故の原因になります。
10. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちに電源スイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店またはメーカーまで点検、修理を依頼してください。(有償修理) そのまま使用していると、事故の原因になります。
11. 誤って落としたり、ぶつけたときは、帯のこ刃や本体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。破損や亀裂、変形があると、事故の原因になります。

⚠ 警 告

・ 定格時間以上の連続使用はしないでください。定格使用時間…**30分**

・ 長時間使用する場合は、指定の定格使用時間で必ず一度電源スイッチを切り (OFF)、約15分たってから使用してください。(電源スイッチの入切による連続運転は連続使用と同じです。)

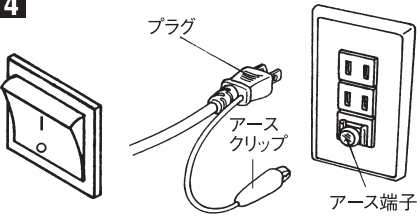
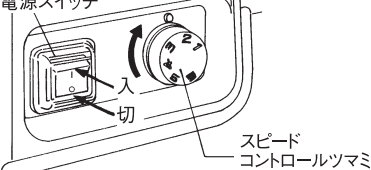
■本体の組み立て、 固定の方法

1 	テーブル③のネジ、ナット、ワッシャをはずします。 バンドソー本体にテーブル③をテーブル固定ノブ①、カラー②で取り付けます。 テーブル③にネジ、ナット、ワッシャを取り付けてください。
2 	L型レンチ (大) で4本のボルトをゆるめて本体カバー④をはずします。 本体カバーを閉める時、ボルトは軽く締めてください。
3 	バンドソーを机または作業台に5本の木ネジでしっかり取り付けます。 注意: ①の部分にネジを取り付ける際は、⊕ドライバー (市販品) で集じんダクト内のネジをゆるめ、集じんダクトをはずしてから作業を行ってください。

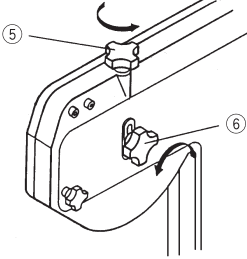
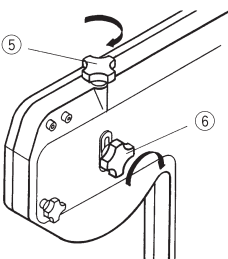
■電源の接続と スイッチ操作

⚠ 警告

電源コード先の電源プラグを電源コンセントに接続するときは、必ず電源スイッチが切れていることを確認してください。電源スイッチが入ったまま電源を接続すると危険です。

4 	電源プラグより出ているアースクリップを利用して、電源コンセントのアース端子にアース接続 (接地) をしてください。アース端子がないときは、別にアース棒などを使ってアースを引く工事を行ったうえで、確実に接続してください。
5 	電源スイッチをONにします。(I印を押す) 電源スイッチの右側のスピードコントロールツマミを回します。刃のスピードが変わります。 電源スイッチのカバーははずさないでください。 電源スイッチの故障の原因になります。

■帯のこ刃の張りの調整 (工場出荷時に基本的な調整は できています。)

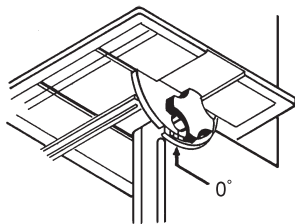
6 	ブリー固定ノブ⑥を左に半回転ほどゆるめます。次に上部の帯のこ刃張り調整ノブ⑤を半回転ほどゆるめます。この時、あまりゆるめすぎると帯のこ刃がブリーからはずれません。
7 	帯のこ刃の張り具合を調節します。上部の帯のこ刃張り調整ノブ⑤を右に軽く締めます (水道の蛇口を軽く締める程度)。次にブリー固定ノブ⑥を締めます。⑤をあまり強く締めると帯のこ刃が切れたり、機械の故障の原因になります。 締めかたがゆるいとき、帯のこ刃がスリップする場合があります。 ⑥をゆるめ、もう少し⑤を締めて下さい。

■ 切断作業

▲ 注意

1. 切断する材料は、必ずテーブルに密着させて、切断作業を行ってください。
2. 細かい作業や、うすい材料を切断する場合は、帯のこ刃の山数の多いものを使用してください。
3. 帯のこ刃の特性上、まっすぐに切れない場合があります。あらかじめ、切断する箇所に線を引き、この線を目印に、材料を左右に調節しながら、ゆっくりと切断してください。

8



テーブルの角度目盛を確認します。0°または好みの角度に調節してください。

(この角度は目安です。正確な角度を必要とされる場合は、テーブル上面と帯のこ刃を分度器などで計測して調節して下さい。)

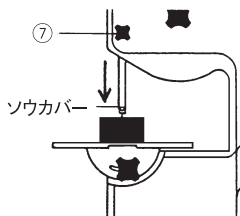
9

PRG0001					
材料	厚さ	硬度	種類	山数	速度
アルミ	1mm	軟	アルミ	6	6
ステンレス	1mm	中	ステンレス	5	5
銅	1mm	硬	銅	4	4
鉄	1mm	硬	鉄	3	3
鋼	1mm	硬	鋼	2	2
炭素鋼	1mm	硬	炭素鋼	1	1

材料の種類によって周速(帯のこ刃のスピード)を変化させます。電源スイッチ上側の表を見て材料にあったスピードで使用してください。

※この表は帯のこ刃の寿命に合った、大体の目安です。

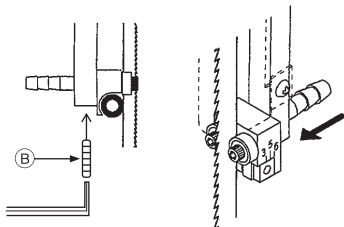
10



ソウカバー固定ノブ⑦をゆるめてソウカバーを切断する材料の近くまで下げます。

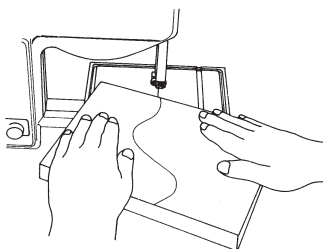
(作業安全の為、必ずソウカバーを下げてください。)

11



③のネジをL型レンチ(小)でゆるめ左図のようにローラーが帯のこ刃に軽く触れるように調整します。

12

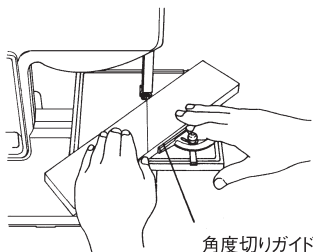


曲線の切断

円弧や曲線を切断する場合は、送材速度(材料を切り込む状態に合わせて送り込む速さ)や回転数をやや遅くすると切りやすくなります。

●幅3.5mmの、帯のこ刃の使用をお勧めします。

13

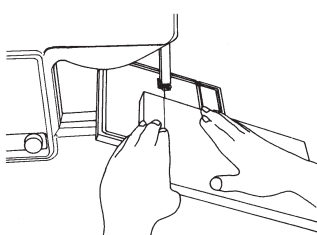


直線(角度)切断

付属の角度切りガイドで角度を設定した後、角度切りガイドの金属ガイドをテーブル面の溝に入れ送り込むことにより、直線(角度)切断が安定してできます。

●幅5mm/6mmの、帯のこ刃の使用をお勧めします。

14



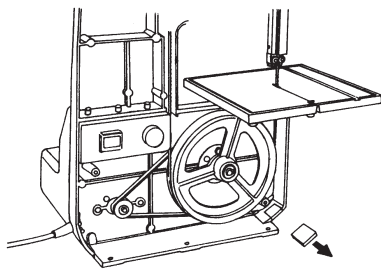
傾斜切断

テーブル固定ノブをゆるめ、テーブルの傾斜角度を変えます。(最大右へ45度まで傾斜できます。)

切断作業に入るときは、必ずテーブルを固定してください。

■切りくずの処理

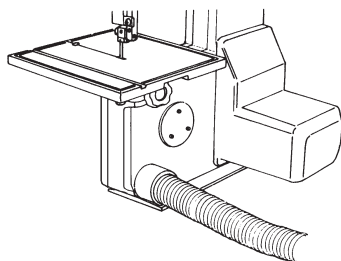
15



切断作業時の切りくずを下に落としたいときは、本体カバーを開き、本体右下コーナーのパネルをはずしてください。ここから切りくずは下へ落下します。

- 使用中は時々、使用後は必ず、本体カバーを開き、内部にたまった切りくずを清掃し、取り除いてください。

16



集じんダクトに、お手持ちの掃除機のホースを接続すれば、より快適な状態で切断作業をすることができます。
(水槽タンク使用時には、使えません)

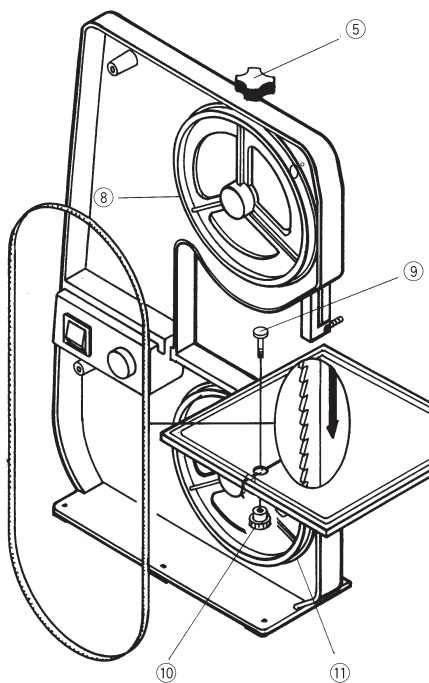
- 差込口の太さが合わない場合は、付属のゴムパイプ又は集じんアダプターをご使用ください。

■帯のこ刃の交換・取付け方法

⚠ 注意

1. 帯のこ刃は、取扱い説明書に従って確実に取り付けてください。確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 新しい帯のこ刃を取り付け、はじめて電源スイッチを入れるときは、帯のこ刃の露出部から一時身体を避けてください。帯のこ刃が破壊したとき、けがの原因になります。
3. 電源コードを引っ張られたり、引っ掛けたりしないようにしてください。

17



- ネジ⑨⑩を取りはずします。
- プーリー固定ノブ⑥と上部の帯のこ刃調整ノブ⑤をゆるめて、帯のこ刃をはずします。

帯のこ刃を取り付ける場合

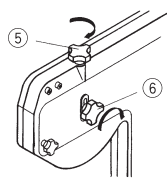
- プーリー⑧⑪に帯のこ刃をかけます。この時帯のこ刃の向きに注意してください。

(イラスト参照)

プーリー⑧⑪に帯のこ刃をかけたら、上部の帯のこ刃張り調整ノブ⑤を右に軽く締めます(水道の蛇口を軽く締める程度)。次にプーリー固定ノブ⑥を締めます。

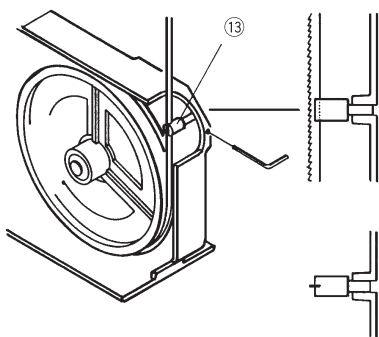
- ⑤をあまり強く締めるとバンドソー帯のこ刃が切れたり、機械の故障の原因になります。

- 帯のこ刃を取り付けたら再びネジ⑨⑩を取り付けてください。



バンドソー帯のこ刃の方向が逆になっている場合は両手でつまんで帯のこ刃を裏向けます。

18

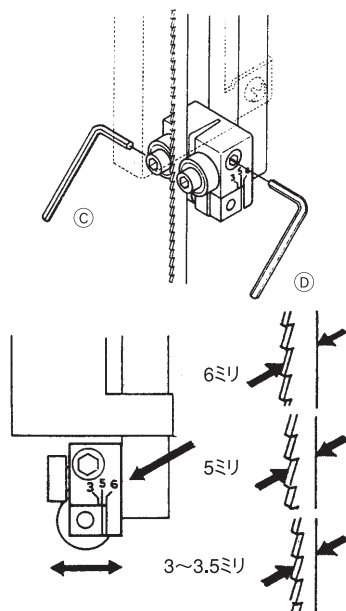


帯のこ刃は出荷時に本体に取り付けて調整してありますが、帯のこ刃を交換したり、違ったサイズの帯のこ刃を取り付けた場合、帯のこ刃の性質上、帯のこ刃が前後に移動することがあります。そのときは、帯のこ刃ガイド⑬の溝に帯のこ刃が入るように⑬を前後に移動させてください。

- ⑬はL型レンチ(小)でゆるめます。

イラスト参照

19



上側の帯のこ刃ガイド (ローラーガイド)の調整

©のネジをL型レンチ(中)でゆるめてローラーを帯のこ刃の幅にあわせて調節してください。

帯のこ刃の幅→ガイドの目盛

3~4mm → 3

4~5mm → 5

5~6mm → 6

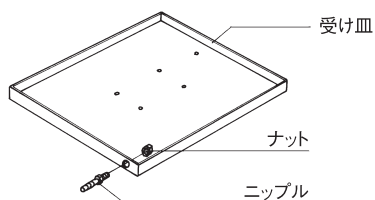
①のネジで帯のこ刃の厚みを調整しますが、強く締めないでください。ローラーから異音ができる原因になります。(基本的には触らないでください。)

No.28172 (ガラス タイル 石材用) 組み立て方法

⚠️ ダイヤモンド・ブレードでの切断作業の注意

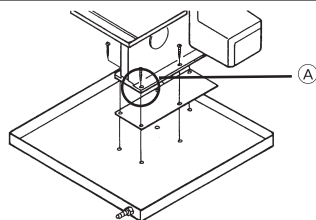
- 必ず水槽タンクのコックを開いて水を少しずつダイヤモンド・ブレードにかかる様にしてください。
- 材料を切断するとき材料をゆっくり進めて切断してください。
- ダイヤモンド・ブレードで木、金属、プラスチックの切断はしないでください。

20



受け皿、外周部分コーナーにある丸穴にニッブルを外向きに取り付け、付属のナットで締め付け、固定します。
(※工場出荷時に組み立て済です。)

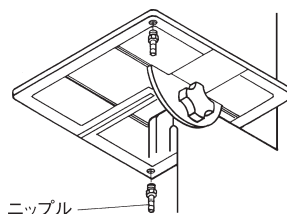
21



受け皿を机または作業台に置きます。ゴムパッキンを受け皿の穴に合わせて、その上にバンドソー本体の穴も合わせて置きます。5本のネジでしっかりと机または作業台に取り付けます。

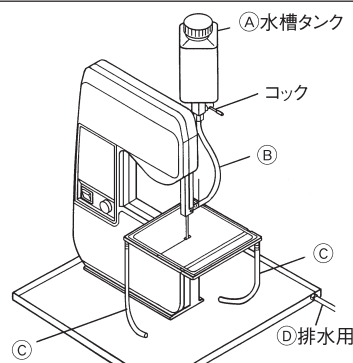
注意: ①の部分にネジを取り付ける際は、⊕ドライバー(市販品)で集じんダクト内のネジをゆるめ、集じんダクトをはずしてから作業を行ってください。

22



ニッブルをテーブルの下側の2個所の穴にネジ込みます。

23



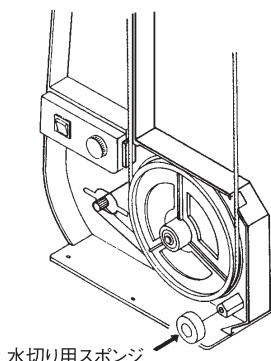
- ① 水槽タンクを本体上部の裏側に取り付けます。
- ② ビニールホース(短)を水槽タンクからバンドソーのローラーガイド後のパイプに差し込みます。
- ③ ビニールホース(短)をテーブルの下に取り付けしたニッブルに差し込み、受け皿に水が流れる様にしておきます。
- ④ ビニールホース(長)を受け皿のニッブルに差し込みます。(排水用)

※No.28170 (木工、金工用)をお持ちの方で、別売品No.28186 ダイヤモンドブレード/
No.28188 水槽タンク・セットをお買い求めになった方へ

▲ 注意

使用後はローラーガイドに油などを塗ってサビない様にしてください。

24



水切り用スポンジ

- 本体カバーははずします。
- 図の位置に水切り用スポンジを取り付けて下さい。
- その後は 20 ~ 23 を参照して下さい。

7ページ 19 の様にローラーガイドの目盛りを3に合わせて下さい。
調整が行われていないと、ダイヤモンドブレードの破損の原因になります。

■ バンドソー刃の選択について

バンドソーの性質上 (能力上) 切断する材料は選びませんが、適した鋸刃を選択されることをお勧めします。
適材量よりも能力、耐久が低くなる可能性があります。(No.28186・ダイヤモンドブレードを除く)

● 交換用バンドソー鋸刃

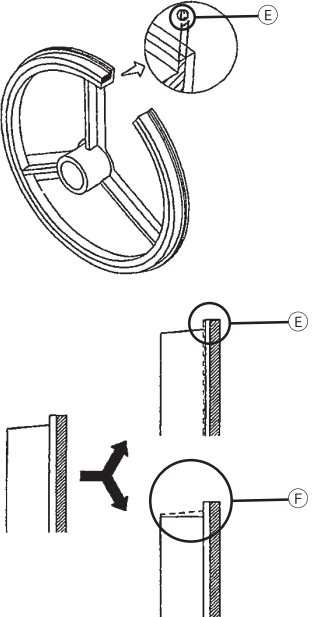
▲ 注意

バンドソーの性質上 (能力上) 切断する材料は選びませんが、より刃を長持させるために適した鋸刃を選択されることをお勧めします。適材料よりも能力、耐久が低くなる可能性があります。特に刃数 (山数) と材質は根づまりの関係上、柔らかい材質には刃数の少ないもの、堅い材質には刃数の多いものを選んで下さい。

	山数 刃幅	木工	金属 (鉄、真鍮、アルミ)	一般汎用品 (プラスチック、 樹脂材料)	ガラス (セトモノ、カーボン、 グラスファイバー)	イメージ 実際とは若干異なる場合があります。
No.28174 金属用 (鉄、真鍮など) ※薄板に最適	24 5mm	△	◎	△	×	
No.28175 金属用 (鉄、真鍮など) ※薄い木材にも対応し、 汎用性が高い	18 5mm	○	◎	○	×	
No.28176 木材用 ※No.28170 型タイプに 標準取り付け品	14 5mm	◎	△	○	×	
No.28178 樹脂、アルミ用 ※刃幅が薄いので曲線加工 性が高い	14 3.5mm	○	△ アルミは◎	◎	×	
No.28179 金属用 (鉄、真鍮など) ※薄い木材にも対応し、 汎用性が高い	18 3.5mm	○	◎	○	×	
No.28180 金属用 (鉄、真鍮など) ※薄板で曲線や細かい作業 に最適	24 3.5mm	○	◎	△	×	
No.28182 金属用 (鉄、真鍮など) ※薄板で曲線が少ない物に 最適	24 6mm	△薄板	○薄板	△薄板	×	
No.28185 (バイメタルブレード) 金属用、薄ステンレス (SUS303、304)	10/14 6mm	○	◎ ステンレス薄板も可	○	×	
No.28186 (ダイヤモンドブレード) ガラス、せともの、 カーボン板専用 水槽タンクセット必要 (別売)	なし 3mm	×	×	×	◎	

◎は、最も適した材料 ×は、使用不可

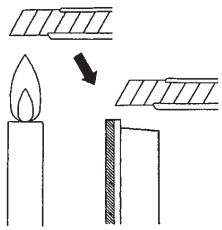
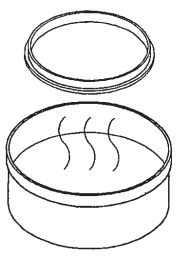
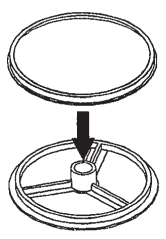
■ 消耗箇所について

	帯のこ刃はもちろんのこといくつか消耗する箇所があります。消耗したままご使用されますと、機械の故障だけでなく、事故の原因や修理不能になる場合があります。次に上げる箇所は常に点検し消耗をしている場合は早めに新しいものと交換してください。 ● プーリーリングの背中の⑤の部分（樹脂製/白色）がすりへってきた場合。図参照 ● プーリーリングの⑥の部分溝が溝になってきた場合。図参照 ● 6ページ 18 のガイド⑬の溝が帯のこ刃の幅より深くなったり、ゆがんだり、幅が大きくなった場合。 ● 6ページ 19 の上側帯のこ刃ガイド（ローラーガイド）のローラーがスムーズに回らなかったり、がたつきが出た場合。また、水槽タンク使用時にローラーガイドから水が出なくなった場合。 ● 水槽タンクセットを使用されている場合、10ページ 24 の水切りスポンジの破損及び効果がなくなってきた場合。
---	---

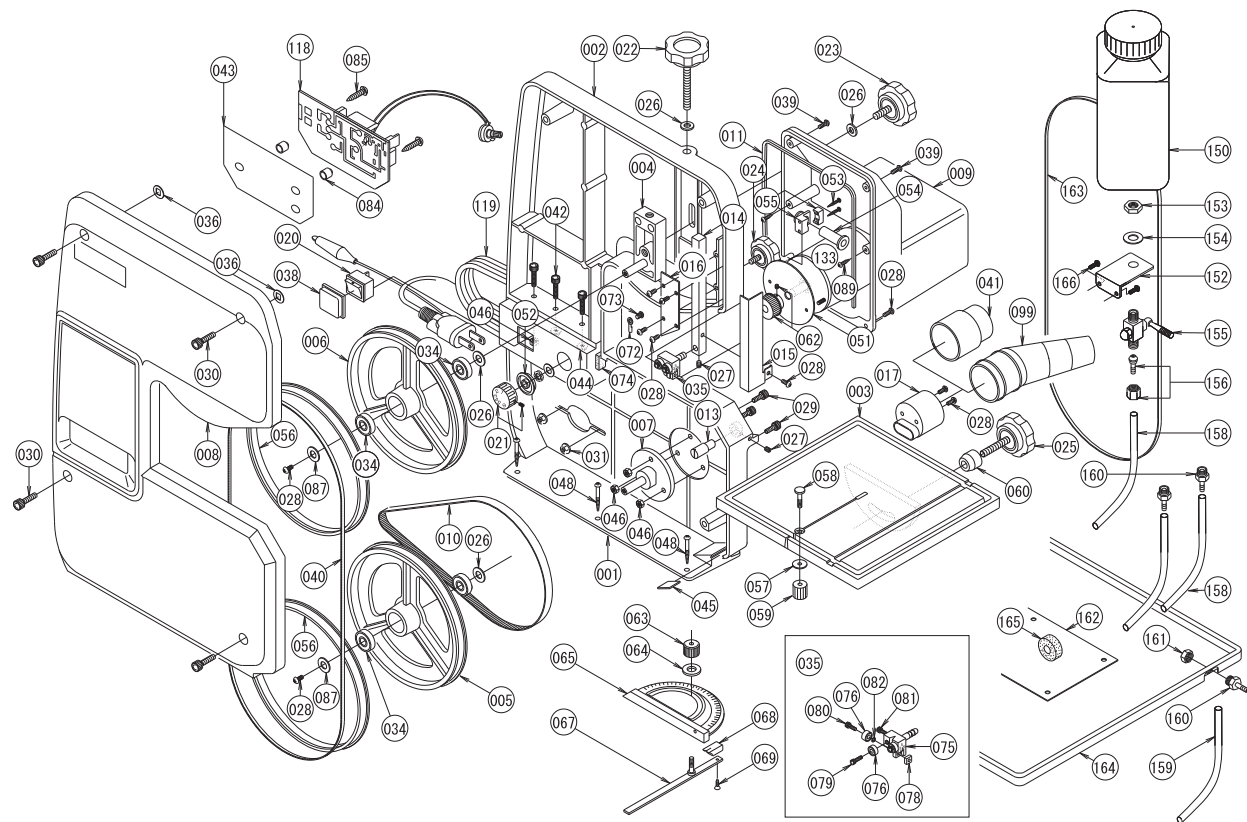
■ プーリーリングの取り替え方法

⚠ 注意

1. プーリーリングとプーリーとの間に隙間があると帯のこ刃の破損の原因になります。必ず、隙間がないことを確認してください。
2. プーリーリングをプーリーにはめ込む際、強くたたかないでください。プーリーが変形し、故障や事故の原因になります。
3. プーリーリングをプーリーにはめ込む際、硬いハンマー等でたたかないでください。プーリーリングに傷つき、異音を発生する恐れがあります。

25 	プーリーリングを切断します。 ● カッターナイフを火であぶりプーリーリングを切断します。 ● プーリーリングをプーリーからはずします。
26 	新しいプーリーリングを90℃以上のお湯に3分間ぐらいつけます。
27 	図のようにプーリーリングをプーリーにはめ込みます。 ● プーリーリングをお湯から取り出し冷めないうちにプーリーにはめてください。冷めてしまった場合は、再び 26 の作業を行ってください。 ● プーリーリングとプーリーの間に隙間ができないようにしてください。 ※ プーリーを手を持ち、プーリーリングのフチをプラスチックハンマーなどで軽くたたくと効果的です。

■ ミニバンドソー 展開図
(No.28170/No.28172)



■ 部品表

図番	商品名	備考	図番	商品名	備考	図番	商品名	備考
001	本体 下		038	スイッチカバー		076	ベアリング	
002	本体 上		039	ナベネジ		078	角ナット	
003	テーブル		040	バンドソー刃 14山-幅5mm	※1	079	六角穴付ボルト	
004	テンションブロック		041	ダスターアダプター		080	六角穴付ボルト	
005	2段 プーリー		042	六角穴付ボルト		081	六角穴付ボルト	
006	1段 プーリー		043	ルミラー		082	ワッシャ	
007	プーリーマウント		044	フランジナット		084	マウント	
008	前カバー		045	集塵板		085	ナベタッピング	
009	モーターカバー		046	ナット		087	ワッシャ	
010	ベルト(285MXL-9.5)		048	木ネジ(本体固定用)		089	ナベタッピング	
011	モーターカバーパッキン (NRゴムヒモ)		051	ルミラー		099	ダスタージョイント	
013	ガイド棒		052	防水カバー		118	基盤	
014	ガイド棒		053	ナベタッピング		119	電源コード	
015	セーフティーガード		054	コードゴム		133	モーター	
016	ガイド板		055	コードストッパー				
017	ダスター取り付け口		056	プーリーリング				
020	スイッチ		057	ワッシャ		150	水槽タンク	※2
021	スピードコントロールつまみ		058	テーブル傘ネジ		152	水槽タンク受け金具	※2
022	グリップボルト		059	つまみナット		153	タンクナット	※2
023	グリップボルト		060	カラー		154	タンクパッキン	※2
024	グリップボルト		062	モーターギア		155	コック	※2
025	グリップボルト		063	分度器ノブ		156	タンクニップル	※2
026	ワッシャ		064	ワッシャ		158	ビニールホース	※2
027	ホーロービス		065	分度器		159	ビニールホース	※2
028	ナベネジ		067	分度器レール		160	ニップル	※2
029	六角穴付ボルト		068	分度器目盛り		161	ニップルナット	※2
030	六角穴付ボルト(溝付)		069	皿タッピング		162	ゴム板	※2
031	フランジナット		072	アース端子		163	ダイヤモンドブレード(#120)	※2
034	ベアリング		073	ナベネジ		164	水受け皿	※2
035	ローラーガイド		074	スポンジ		165	水切りスポンジ	※2
036	ネジ止めリング		075	ローラーガイド本体		166	ナベネジ	※2

※1 No.28172型には付属していません。 ※2 No.28170型には付属していません。

分解図、部品表中の表現と本文が一致しない場合があります。又、改良のため予告なくサイズ、形状、仕様等が変更になる場合があります。
各部品に関するお問い合わせは、必ず 株式会社キソパワーツール アフターサービス係 までお問い合わせください。

株式会社キソパワーツール アフターサービス係 tel 06-6693-5353 月～金(祝日除く) 9:00～12:00/13:00～17:00

別売部品

●交換用バンドソウ帯のこ刃 (周長は1060~1070mm)

No.28174	幅5mm	周長1060mm	24山(1本)	No.28180	幅3.5mm	周長1060mm	24山(1本)
No.28175	幅5mm	周長1060mm	18山(1本)	No.28182	幅6mm	周長1060mm	24山(1本)
No.28176	幅5mm	周長1060mm	14山(1本)	No.28185	幅6mm	周長1060mm	10/14山(1本)
No.28178	幅3.5mm	周長1060mm	14山(1本)	※バイメタルブレード			
No.28179	幅3.5mm	周長1060mm	18山(1本)	No.28186	幅3mm	周長1060mm	※ダイヤモンドブレード120番(1本)

●オプションパーツ

- No.28187 バンドソウ・ローラーガイド
- No.28188 水槽タンク・セット ※No.28186ダイヤモンド・ブレードをご使用になる時は、No.28188水槽タンクを取付けてください。

保守と点検

- 使用後は、粉塵などを取り除いたのち帯のこ刃の張りをゆるめて保管してください。
- 使用後は、次回の使用に備えてネジ類のゆるみや、異常な箇所が無いことを確認しておいてください。
万一、異常があったときはそのまま放置せず、お買上げの販売店またはメーカーに点検、修理を依頼してください。(有償修理)
- 帯のこ刃は乾いた布で汚れを拭き取り、サビ防止のため、薄くサビ止め油などを塗っておいてください。
- 本体の汚れは乾いた布で軽く汚れを拭き取るようにしてください。
- 本体は完全な防水構造ではありませんので、絶対に水などを付けて洗ったりしないでください。
また、絶対に揮発系の溶剤やガソリン、シンナーなどでも洗ったり拭いたりしないでください。
変形、変色の原因となります。
- 保管は小さいお子様の手の届かない、室内の安定したところにしてください。
また、湿気がなく、直射日光の当たらない涼しい場所で、高温にならないところに保管してください。

-----〈キリトリ線〉-----

〈保証規定〉

1. 使用説明書、本体注意書きラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で保証期間内に、万一故障した場合は、本保証書を本製品に添付のうえ、お買い求めになった販売店、または当社までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理します。この場合の交通費、送料および諸掛り費用はおお客様のご負担となります。なお、代替品および出張修理は致しません。
2. 保証期間内でも次の場合は有償修理となります。
 - ① 使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または破損。
 - ② 指定の定格使用時間以上の作業による故障または破損。
 - ③ 指定以外の先端パーツ、および別売部品を使用した場合の故障または破損。
 - ④ 使用による、本体内部の消耗部品および先端パーツ(刃物、砥石、ビットなど)の消耗による、故障または破損。
 - ⑤ 他社製の部品の使用に起因して生じた故障または破損。
 - ⑥ 移動時の落下等による故障または破損。
 - ⑦ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変による故障および破損。
 - ⑧ 保証書のご提示のない場合。または本保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き替えられた場合。
3. 商品に含まれている、本体以外の部品(先端ビット、のこ刃類、刃物類、砥石ヤスリ類、エアーブラシなど)は、保証の対象にはなりません。
4. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直後、関節の損害については、当社は責任を負わないものとします。
5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
6. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。